

## オリーブ内科クリニック 鈴木院長に聞く

Volume 7

# 内臓の痛みについて



オリーブ内科クリニック  
院長 鈴木 義明

【経歴】  
藤田保健衛生大学卒業(平成8年)  
坂文種報徳会病院 麻酔科  
名古屋大学 環境医学研究所  
ドイツ ニュルンベルク エルランゲン大学 生理学  
尾洲病院 内科  
木曾川市民病院 痛症外来

で排尿障害のある方など、使用上の注意が必要ですので、かか  
りつけ医に相談してください。

病巣から離れた場所に  
発生する痛み

Q 次に病巣から離れた場所に発生する痛みについて教えて下さい。

A 内臓の痛みについて教  
えてください。

A まず内臓には食道や胃、十二指腸、小腸、大腸などの管腔臓器と、肝臓や腎臓、脾臓などの実質臓器がありますが、これらの臓器は皮膚と違  
「切る」や「刺す」、「焼く」で  
は痛みを起こしません。

A 管腔臓器の場合には消化管内圧の上昇を起こすような圧迫や腸管壁の伸展、腸管閉塞が原因で内容物を移送しようと強い腸管収縮により痛みが起こります。実質臓器の場合には被膜の急激な伸展や炎症により痛みが生じ、「絞られるよう

な」あるいは「押されるよう  
な」と表現される痛みです。上腹部やおへそ周囲、下腹部といった漠然とした範囲での

消化器系臓器の痛みとその治療

Q 消化器系臓器の場合について  
も教えて下さい。

A 胃腸など消化器系臓器の運動は、副交感神経の命令によって高まります。この神経の働きはアセチルコリンという神経伝達物質により起ります。腸管に狭窄(すばまつて狭いこと)が起こり、消化管の強い運動が引き起された痛みを誘発している時は、一般的な痛み止めである消炎鎮痛薬よりもアセチルコリンの放出を抑えることで腸管の異常な運動を弱める抗リソ作用薬の方が痛みを緩和させます。ただし、緑内障で眼

痛みとして感じる場合が多く、嘔吐や下痢、めまいなどを伴う症状も見受けられます。

A あたかも体表面が痛いように感じられるのです。

[例]

- 胃、十二指腸：上腹部、左背部
- 肝臓、胆のう：右上腹部、右肩
- 脾臓：左背部、みぞおち
- 小腸、大腸：へそ、へそ下
- 腎臓：腰部

急性胃炎と慢性胃炎

Q では次に急性胃炎と慢性胃炎について教えてください。

A どちらも胃の炎症性疾病ですが、症状が異なります。急性胃炎では、みぞおち付近の痛み、胃が膨らむような不快感、むかつき、嘔吐などが急激に起こります。一方、慢性胃炎では、空腹時や夜間の胸やけ、

食欲不振、食後のむかつぎ、胃のもたれなどが、胃潰瘍や胃癌でも同様の症状がみられることがあります。内服治療には胃粘膜保護薬や胃酸分泌抑制薬、消化管運動改善薬などがあります。これらの内服治療をしても症状が残っているときには、詳しい検査(内視鏡検査など)を受けようしましょう。

次回は、  
「ガンの痛み」  
についてのお話しを伺います



オリーブ内科クリニック  
0587-21-1177

〒492-8145 稲沢市正明寺3丁目191  
olive-cl.com オリーブ内科 稲沢 検索

名鉄  
「小池南」  
バス停前



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM8:30~12:00	●	●	●	●	●	●	/
PM4:30~ 6:30	●	●	●	●	●	●	/

診療科目 内科 ベイン(痛み)内科 リハビリテーション